



二期が始まりました。「自分から」を一つプラスして

校長 松本 浩一

例年とは違い八月途中で二期が始まり、子供たちが学校に戻ってきました。休み中は暑さが厳しく、涼しい部屋から出られなくなった子供たちも多いのではないのでしょうか。今回も一堂に会しての始業式は実施できないので、校内放送にて、子供たちに次の二つのことを話しました。

一 実りの多い二期にしていこう

一期に土を耕し「成長」という種をまきました。種から芽が出てきたところで夏休みになりました。二期はその芽を伸ばし、きれいな花を咲かせてほしい。そして、秋には大きな実がなることを期待しています。「実がなる」とは、「自信が持てるようになること」と考えてください。「自信」がもてるようになることで、今までよりさらに大きく成長した自分になっていることを期待します。そのために大切なことは、「あきらめない」ことです。何ができるか、制限はあるけれど「これならできる」と考えてほしい。「成長」という身を大きく実らせましょう。

二 「自分から」を加えてほしい

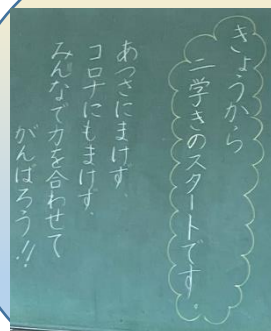
一期に話した頑張ってほしい三つの確認です。
①「あいさつは 相手の目を見て 自分から」
②「話を聞ける 分かるまで」
③「やればできる」
二期はこれに「自分から」を加えてほしい。①はそのままで、②は「教えてくれるのを待つ」のではなく、「どうしてそうなるの？教えて」のように「自分から分かるようにする」ようにしてほしいです。③は、「自分から」やらなければできないということです。
みんなと共に楽しいと思える学校にしたいと思っています。自分たちで「楽しい」と思える学校にしていきます。

まだまだ暑い日が続く、熱中症が心配されます。熱中症は、「見極めの難しさ」や「体へのダメージ」があり、ならないように予防することが大切です。子供たちは目の前の活動に一生懸命になりますので、コントロールをするのは大人の責務だと思います。学校でも十分に指導いたします。
保護者の皆様、地域の皆様、二期も御支援・御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

校長先生の話をごんごんに素晴らしい姿勢で聞いていました！



こんなにきれいに咲きました！
会計年度職員の萩野谷さんが毎日水やりや花摘みをして
くれています。



熱中症対策

昇降口に「ミストシャワー」を会計年度職員の横瀬さんが設置してくれました。

下校時の対策として、必ず帽子をかぶること、距離を離しマスクを外すこと、安全なところで水分補給をする



ミストシャワーの設置

こと等の指導をしています。御家庭においても同様の言葉かけをお願いします。また、水筒に補充するペットボトルの持込を可としましたので、御準備をお願いします。

コロナ対策

授業中の活動の幅を広げ、対話活動による学力向上を考えています。

対話活動を安全に行うために、「フェイスシールド」を全校児童分購入させていただきました。消毒をしながら使用します。家庭へは持ち帰らずに教室で保管いたします。



職員室内に、「飛沫防止フィルム」を設置しました。会計年度職員の横瀬さんと、ボランティアの高崎さんがあっという間に作成・設置してくれました。